

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年4月10日

事業所番号	2772402745	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 うらら		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム うららの家	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	枚方市村野東町10番35号 電話072-805-5660	評価調査日	平成 21 年 4 月 7 日
		評価確定日	平成 21 年 4 月 12 日

【情報提供票より】 (平成21年2月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9 人
職員数	14 常勤 4 人	非常勤 10 人	常勤換算 8 人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨作り 2階建 (2階建ての2階部分)
-------	-------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	4~4.5万円			その他の経費 (月額)	15,000円		
敷金	無 ()						
保証金の有無	有 1.5万円	返却 2ヶ月以内	10万円	3ヶ月以内	5万円返却	3ヶ月以上	返却なし
食材料費	朝食	円	昼食	円			
	夕食	円	おやつ	円			
	または1月当たり		3万9千円				

(4) 利用者の概要 (2月28日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	3名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	85才	最低	71才	最高	91才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	西井内科クリニック
---------	-----------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

「利用者さんに、心豊かな、個性豊かな生活を」を理念として運営が行われ、利用者の一人ひとりが毎日の生活を楽しんでおられる。特に、運営者が職員のチーム活動の先頭に立ち、また後ろから支えている上、職員の過半数の6名が4~5年の勤続者であるので、安定した運営を実施している。更に、利用者個人毎の介護看取り記録と、職員のカンファレンスにより、質の高いサービスに活かしている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	地元との交流は運営者のご両親の応援もあり、運営推進会議も各委員の都合に合わせて開催されて来ている。職員のチームワークについては安定しており、徐々に責任の分担が進められ、サービス向上に活かしている。利用者一人ひとりの介護計画は、センター方式を利用し、職員全員が協力して看取り、聞き取り、カンファレンスと、前年より改善されている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	計画作成者と運営者により原案を作成し、それを職員と共に叩き台にして、改善案の検討も加えて読み合わせが行われた。職員の勤続が安定してきているので、利用者それぞれの個性を尊重したチームによる活動を実施している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議の主な討議内容は、ホームの前回会議以降の報告が主となっている。当日は、ご家族代表のご意見も頂けるので、積極的に改善に活かしている。今後は地域包括センターの協力を得て、各委員の積極的な情報交流を進めるように検討している
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	利用者、ご家族の意向は日頃から汲み取るよう配慮され、個別に対処している。ご家族アンケートの集計結果を見ても、ご苦情、不満はない。特に、運営者は職員に対し、利用者の気持ちを汲み取り、気付き介護を、進めるよう指導している
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営者のご両親の協力もあり、また日頃からホームの行事には地域との交流に何かと配慮して企画し、呼び掛けをしていることもあり、自然な感じで、近隣の方が訪れている。又、「ホーム便り」を自治会にも配布して読んでもらい、認知症の理解に役立つよう配慮している

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりが、心と個性を豊かに」を理念として掲げている		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者は定例の職員全体の会議を毎月第2か、第3金曜日の午後9時から、全員出席で開催している上、常に、理念の実践を訴えている		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営者は地元の自治会には積極的に交流を進め、ホーム行事等でも来訪して頂けるよう種々配慮している	○	今までも色々交流には努力して来られました。これからも自然体で、認知症介護を支える発信基地として働いて欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者は外部評価の意義を理解し、部外者の目での提案、指摘を真摯に受け止める姿勢を持っている		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営者は運営推進会議での意義は十分理解している。現状はホームの行事報告が主となっている	○	出席の各委員から、地域における福祉情報の交流が頂けるように検討してください
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者は提出書類を持参し、ご担当の職員より、指導事項を聞き出し、職員の介護や情報知識の指導をしている		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	支払いは、ご家族がホームに来訪時に頂くのを、原則としている。その際に、体調も含めて詳しく様子を伝えている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営については、ご家族の来訪を歓迎しており、利用者と共に喜びを分かち合っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職はやむを得ない事情の場合もあるが、極力慰留している。毎日のホームでの生活の流れや、対応に一貫性があるため、不安を感じさせないようにしている		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は優先課題として実施しており、研修案内の通知、研修費用の助成、勤務への配慮等を行っている。内部研修会も、外部研修者の伝達報告、外部講師を招聘しての研修も、適宜に実施している		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	地域での同業者との交流会、研修会で情報交換、職員の相互訪問による交流等が行われている	○	同業者の会合で、利用者の介護向上のための記録シート作成について、問題点の話し合いを、提案してみても如何でしょうか

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が長年の馴染んだ生活から離れて、不安な思いで入所された心を汲み取りながら、ホームでの生活に早く馴染んで頂けるよう対応している		
--	-------	---	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	長い人生を生きて来られた先輩ととして接している。特に、年配の職員は敬意を持って介護している		
--	-------	--	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	管理者を含めた介護職員は、利用者とは本音の話しを聞き出せるように努めている		
--	-------	---	---------------------------------------	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員会議で利用者の症状の確認の話し合いを、成功、失敗談も交えて、個人毎の介護計画を作成している。又、計画用紙にはセンター方式も利用し、工夫と努力を重ねている		
--	-------	--	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	職員と利用者との、症状把握の対話と記録、そして会議を重ねている。一つでも多くの役立つ症状を獲得して、新しい計画作成に役立つよう努力している		
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族の要望には、可能な範囲内で支援の努力をしている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	契約している医師には、居宅での療養管理指導を依頼している。利用者の以前からの医師との連携も大切にしている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナル・ケアの研修、職員への知識伝達、情報交流等は実施済みである。そして、ご家族の合意と医療機関とも密接に連携しながら、ケアが行われている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者個人毎のプライバシーについては、親しさの仲で節度を持って接している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の思いで、色々な言動が出てくるが、職員は寄り添う感覚で、慎重に対応している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の前後で、利用者の出来る範囲内の手伝いをして頂いている。例えば、鍋物やたこ焼き等も楽しみながら調理して頂いている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		決まりの入浴をして頂いているが、体調、希望にり対応については、適宜に変更している

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		利用者は各自で自由に好きなことをして楽しんで頂いている。ゲーム、その他、備品として用意されたものを使い、各自で楽しんでいる
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		外出は適宜、近所を歩いてもらっているが、希望される少し離れた場所へは、車を使っている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		ホームは2階のため、階段のおどり場にだけ、柵をしている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		消防署との訓練指導を実施している、そして、緊急時の誘導介助の応援体制も職員、ご家族や関係者との連絡体制も出来ている

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		食事、水分の摂取量のチェック、介助がされている。体重測定は適宜、行われている。
--	----	----	---	--	---

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		天窓により明るい空間となっている。清掃は毎日、徹底して行われ、季節感も職員との共同で演出している。熱帯魚の水槽には泳いでいる魚が、眼を楽しませている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		居室は、各自で自由に家具類を持ち込み、楽しんでいる